

授業科目 人体の構造と機能 I

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	看護
山口 康昭、西野 幾子		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	◎	○	
【概要・一般目標：G10】					
人体の基本的構造を全体的に理解する。器官・組織系、骨格系、筋系、循環器系、内臓系、内分泌系、感覚器系、神経系 について、それぞれの形態・構造を理解する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
1. 人体を構成する細胞の構成要素と機能を説明できる。					
2. 細胞から成り立つ組織の四大分類とその特徴を説明できる。					
3. 生活行動を支える運動器系について、形態と構造を説明できる。					
4. 生体内の流通経路としての脈管系について、形態と構造を説明できる。					
5. 呼吸と栄養摂取の機構について、形態と構造を説明できる。					
6. 排泄および性と生殖に関する機構について、形態と構造を説明できる。					
7. 液性調節（内分泌系）の機構について、形態と構造を説明できる。					
8. 神経系調節の機構と感覚器系について、形態と構造を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	解剖学序論	解剖学とは	解剖学用語 看護学との関わり	1	講義
2	組織学 1	組織学総論	人体を構成する細胞と細胞内小器官	1, 2	講義
3	組織学 2	組織学各論	上皮組織	2	講義
4	組織学 3		支持組織	2	講義
5	組織学 4		筋組織 神経組織	2	講義
6	骨格系 1	骨学総論	骨の構造	3	講義
7	骨格系 2	骨学各論	頭蓋	3	講義
8	骨格系 3		脊柱 胸郭	3	講義
9	骨格系 4		上肢の骨 下肢の骨	3	講義
10	筋系 1	頭頸部の筋	胸腹部の筋	3	講義
11	筋系 2		上肢の筋	4	講義
12	筋系 3		下肢の筋	3	講義
13	脈管系 1	心臓の構造	体循環と肺循環	4	講義
14	脈管系 2	血管の構造	動脈 静脈 毛細血管	4	講義
15	脈管系 3	動脈系	静脈系 リンパ系	4	講義
16	消化器系 1	消化管の構造		5	講義
17	消化器系 2	口腔	食道 胃 小腸 大腸	5	講義
18	消化器系 3	肝臓	肝胆道系 膵臓	5	講義
19	呼吸器系 1	気道	気管・気管支 肺	5	講義
20	呼吸器系 2	気道	気管・気管支 肺	5	講義
21	泌尿生殖器系 1	泌尿器系		6	講義
22	泌尿生殖器系 2	生殖器系		6	講義
23	内分泌系 1	内分泌腺各論（1）		7	講義
24	内分泌系 2	内分泌腺各論（2）		7	講義
25	神経系 1	中枢神経系	脳 脊髄	8	講義
26	神経系 2	末梢神経系	脳神経 脊髄神経	8	講義
27	神経系 3	末梢神経系	自律神経	8	講義
28	感覚器系	感覚器系各論		8	講義
29	人体解剖見学実習	系統解剖の見学		1～8	実習（学外）
30					（講義内容変更の場合もあります。）
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 （必ず購入する書籍）		入門人体解剖学 改訂第4版	藤田 恒夫	南江堂	1999・5,000円＋税
参考書		人体解剖ビジュアル -からだの仕組みと病気-	松村 譲児	医学芸術社	2005・3,800円＋税
		あたらしい人体解剖学アトラス	パトリック・W・タンク、トーマス・R・ゲスト、佐藤 達夫 訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2009・7,000円＋税
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席状況、小テスト、期末試験（筆記試験）、レポート提出の総合評価による。		短期間に「解剖学」の全範囲を勉強しますので、予習・復習を習慣づけてください。疑問点はそのままにせず、積極的に質問するなど、主体的に学習してください。不定期に小テストをおこないます。欠席をしないよう特に注意してください。なお、学外実習についての注意点は、講義時間中に伝達します。			